

# 会社説明会

**77 BANK**

平成20年12月2日

**七十七銀行**

1 . 平成20年度中間決算		4 . 中期経営計画の進捗状況	16
損益概況	1	5 . 創業130周年事業	17
主要勘定・利回・利鞘	2	6 . 次期中期経営計画に向けて	18
与信費用および 金融再生法開示債権の状況	3		
有価証券の状況	4		
2 . 主要経営施策			
営業力の強化	5		
有価証券運用の強化	11		
経営効率の改善	12		
健全性の維持	13		
3 . 平成20年度業績予想			
損益	14		
主要勘定・利回・利鞘	15		

## 付属資料のご案内

平成21年3月期第2四半期決算説明資料  
平成21年3月期第2四半期決算短信  
付表  
    資産自己査定の状況  
    債務者区分の遷移状況  
    金融再生法開示債権の保全状況  
    宮城県内の企業倒産状況  
    オフバランス化の状況  
    有価証券の状況  
77BANK調査月報(2008年11月号)  
最近の地価動向について  
七十七の地域貢献

## 損益概況

(単位：億円、%)

	19年中間期	20年中間期	前中間期比	
			増減額	増減率
業 務 粗 利 益	436	428	8	1.9
資 金 利 益	392	384	8	2.0
役 務 取 引 等 利 益	55	48	7	13.4
国 債 等 債 券 損 益	10	6	4	
外 国 為 替 売 買 損 益	3	0	3	
経 費	298	289	9	3.0
一般貸倒引当金繰入前業務純益	138	139	1	0.6
[ コ ア 業 務 純 益 ]	[ 148 ]	[ 145 ]	[ 3 ]	[ 2.0 ]
一般貸倒引当金繰入額	13	25	12	
業 務 純 益	125	114	11	9.2
臨 時 損 益	29	52	23	
株 式 等 関 係 損 益	1	7	6	
不 良 債 権 処 理 損 失	36	55	19	
経 常 利 益	96	62	34	36.0
特 別 利 益	0	0	0	
特 別 損 失	2	3	1	
法人税、住民税等(調整額含む)	34	21	13	
中 間 純 利 益	60	38	22	36.2
与 信 費 用	49	80	31	

**資金利益**

貸出金利息は増加したものの、有価証券利息配当金の減少、預金利息の増加により減益

**役務取引等利益**

預り資産関連手数料が伸び悩んだほか、ビジネスローンの支払保証料の増加もあり減益

**コア業務純益**

経費は減少したものの、業務粗利益の減少により減益

**経常利益**

有価証券の減損処理を行ったほか、与信関係費用が増加したことから減益

**中間純利益**

3期ぶりの減益

## 主要勘定・利回・利鞘

## 主要勘定 (平残)

(単位: 億円、%)

	19年中間期	20年中間期	前中間期比 増減率
貸 出 金	30,710	31,677	3.1
コア貸出金	30,710	31,677	3.1
事業性貸出	17,994	18,006	0.1
(うち除くｽﾌﾟﾚｯﾄﾞ貸)	( 12,068 )	( 11,515 )	( 4.6 )
(うちｽﾌﾟﾚｯﾄﾞ貸)	( 5,926 )	( 6,491 )	( 9.5 )
消費者ローン	6,970	7,003	0.5
(うち住宅ローン)	( 6,308 )	( 6,385 )	( 1.2 )
地公体等向け	5,746	6,668	16.0
有 価 証 券	19,548	20,185	3.3
国 債	10,563	9,592	9.2
地 方 債	994	905	9.0
社 債	4,916	6,163	25.4
株 式	680	877	29.0
そ の 他	2,395	2,648	10.6
預金 + 譲渡性預金	49,749	51,053	2.6
個 人 預 金	34,111	35,227	3.3
法 人 預 金	11,809	12,011	1.7

(注) コア貸出金はローン・ﾊﾟｰﾃｲｼﾞｬﾝ等を除いた貸出金

参考 預り資産 (未残)	5,526	5,741	3.9
--------------	-------	-------	-----

(注) 預り資産は、投資信託、公共債、個人年金保険等、外貨預金の合計

## 利回・利鞘

(単位: %)

	19年中間期	20年中間期	前中間期比 増減
貸 出 金 利 回	2.01	2.00	0.01
コア貸出金利回	2.01	2.00	0.01
事業性貸出	1.93	1.95	0.02
(うち除くｽﾌﾟﾚｯﾄﾞ貸)	( 2.35 )	( 2.39 )	( 0.04 )
(うちｽﾌﾟﾚｯﾄﾞ貸)	( 1.06 )	( 1.16 )	( 0.10 )
消費者ローン	2.65	2.68	0.03
(うち住宅ローン)	( 2.30 )	( 2.33 )	( 0.03 )
地公体等向け	1.50	1.44	0.06
有 価 証 券 利 回	1.56	1.43	0.13
預 金 等 利 回	0.23	0.27	0.04
資 金 ス プ レ ッ ド	1.48	1.41	0.07
総 資 金 利 鞘	0.29	0.29	0.00

# 与信費用および金融再生法開示債権の状況

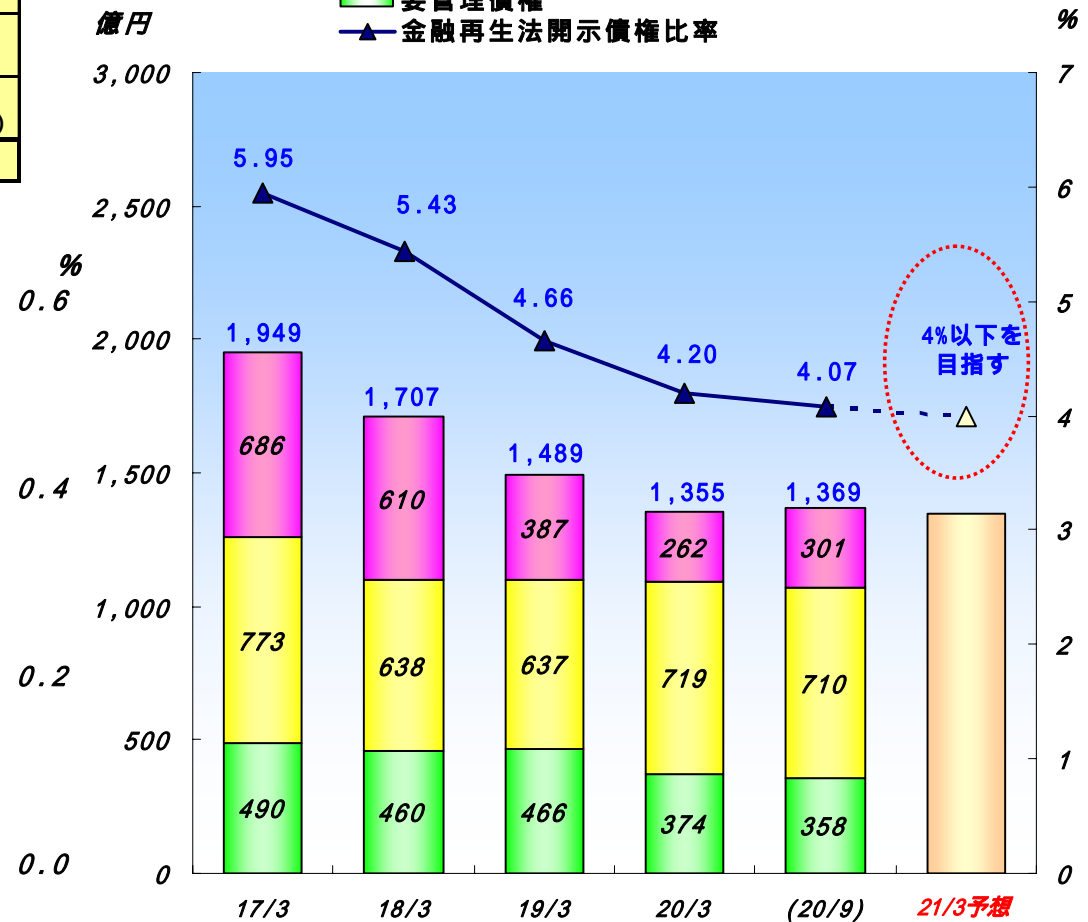
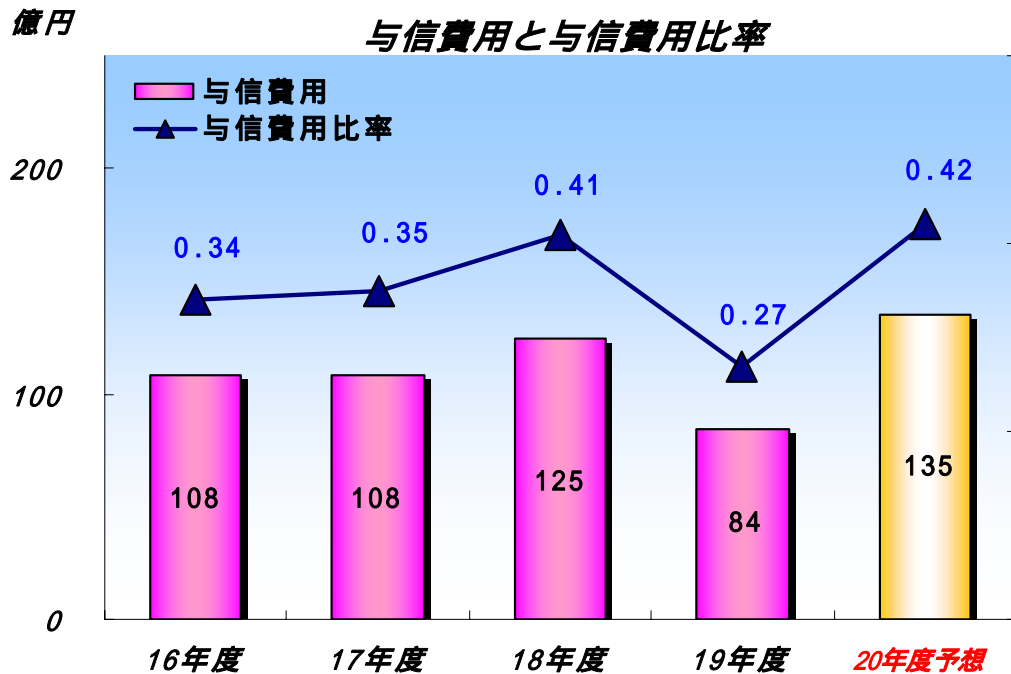
与信費用の推移

(単位：億円)

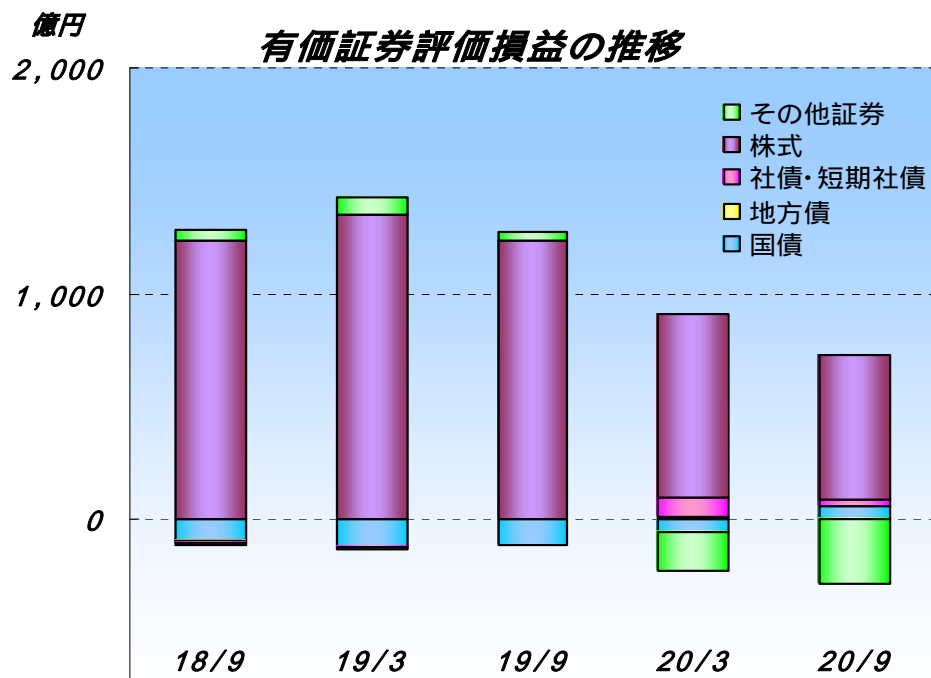
	16年度	17年度	18年度	19年度		20年度	
				中間期	19年度	中間期	20年度
一般貸倒引当金繰入額	65	22	23	13	18	25	35
不良債権処理損失	173	130	102	36	102	55	100
(うち債権売却損)	(11)	(29)	(41)	(8)	(49)	(15)	(N/A)
合計	108	108	125	49	84	80	135

金融再生法開示債権の推移

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権
- 要管理債権
- ▲ 金融再生法開示債権比率



# 有価証券の状況



有価証券評価損益の状況

(単位：億円)

	20/9末残	評価損益
<b>有 価 証 券</b>	20,524	445
<b>債 券</b>	18,989	196
国 債	9,109	58
地 方 債	897	4
短 期 社 債	200	0
社 債	6,324	27
そ の 他	2,459	285
<b>株 式</b>	1,535	641

証券化商品の保有状況

(単位：億円)

裏 付 資 産	20/9末残	評 価 損 益
貸付債権 (C L O)	46	0
事業債 (C B O)	18	2
生命保険基金	14	0
商業用不動産 (C M B S)	37	0
合 計	115	2

変動利付国債の理論価格評価の影響は260億円

サブプライム・モノライン関連商品の保有はない

# 営業力の強化

## 営業基盤の強化

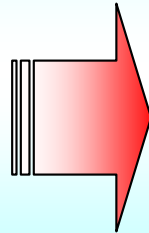
### 営業拠点の拡充

#### 店舗の新設

平成20年度上半期に2店の個人取引特化店を設置

杜せきのした支店（平成20年4月開設、ローンセンター併設）  
（仙台圏南部、平成19年2月開通の「仙台空港アクセス鉄道」沿線）

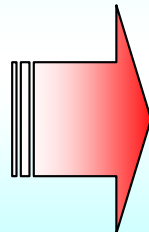
開店6カ月実績  
預金・預り資産 **15億円**  
貸出金 **9億円**



5年後実績目標  
預金・預り資産 **60億円**  
貸出金 **45億円**

岩沼西支店（平成20年7月開設）  
（仙台圏南部、岩沼市の新興住宅地内）

開店3カ月実績  
預金・預り資産 **29億円**  
貸出金 **8億円**



5年後実績目標  
預金・預り資産 **60億円**  
貸出金 **55億円**

実績をふまえ抜かりなく営業力強化を実施  
顧客接点の更なる増強へ

#### 店舗の新設

平成20年度下半期も出店加速

平成20年11月26日  
**栗生支店設置**

（仙台市西部の新興住宅地内）  
6年ぶりのフルバンキング店舗

平成20年12月4日  
**富沢支店設置**

（仙台市営地下鉄最南端駅周辺地区）  
個人取引特化店

# 営業力の強化

## 営業基盤の強化

### 営業拠点の拡充

#### エリア営業体制の導入

平成20年4月より、仙台市の南部・北部のターミナル拠点で導入

#### エリア営業体制導入地域の実績

住宅ローン実行額

前年同期比 **1.7倍**

法人先訪問件数

前年同期比 **1.6倍**

#### 店舗の移転・再配置等

仙台市中心部の2相談プラザをエリア中核店に移設

#### ATMネットワークの拡充

仙山圏経済交流をふまえ  
山形銀行とATM提携  
「MYキャッシュポイント」  
実施



実績をふまえ抜かりなく顧客接点の更なる増強へ営業力強化を実施

#### エリア営業体制の拡大検討

2地域の実績検証を行い、導入地域のさらなる拡大を検討

#### 店舗の移転・再配置等

宮城県沿岸石巻市の蛇田支店、および石巻ローンセンターを近隣の商業集積地敷地内に移転

#### 取引先訪問運動による顧客リレーション強化

営業店長中心に全与信先等を3カ月で訪問

#### 法人ビジネスローンセンターの設置検討

純事業者取引先の増加と小口既存取引先とのリレーション強化

#### ATMネットワークの拡充

「MYキャッシュポイント」への  
東邦銀行の参加  
コンビニATM、他行提携の  
更なる加速





# 営業力の強化

## 営業基盤の強化 ~ 進出企業に対するサポート

地元官民あがてのフォロー、豊富な人材、良好な立地などを背景に大手企業の進出加速  
 地元金融機関として圧倒的な営業基盤、地域情報を活かし、全面サポートを行う

### 今後の主な企業立地予定

県内総生産10兆円を目指す宮城県の富県戦略が奏功し、立地は宮城県に集中。

県内総生産全国順位は  
**15位 13位へ**  
平成16年度県民総生産ベース

今後稼働が予定されている主なもの。( )内は稼働予定年度、投資金額および生産品目



- 岩手東芝エレクトロニクス㈱  
(平成22年、8,000億円、半導体)
- 東和製薬㈱  
(平成24年、約100億円、医薬品)
- デンソー東日本㈱  
(平成22年、160億円、カーエアコン)
- 会津オリンパス㈱  
(平成22年、200億円、医療用内視鏡)

- サンドビック㈱  
(平成21年、200億円、切削工具)
- トヨタ紡織㈱  
(平成22年、約50億円、自動車シート)
- アイシン高丘㈱  
(平成22年、120億円、エンジン部品)
- セントラル自動車㈱  
(平成22年、500億円、自動車車体)
- 東京エレクトロン㈱  
(平成22年、300億円、半導体製造装置)
- トヨタ自動車東北㈱  
(平成22年、500億円、自動車エンジン)
- パナソニックEVエナジー㈱  
(平成22年、200億円、車載用電池)
- 東北リコー㈱  
(平成22年、200億円、トナー)

### 進出企業に対する取組み

#### 進出企業担当者とのリレーション

本部・関係営業店等で支援チーム結成  
 システム活用による全行的情報共有化

#### 進出企業従業員への対応

移転対象者向け住宅ローンの開発

#### 公共セクターとの連携

宮城県・三井住友銀行と「産業振興に関する協力協定」締結

#### 地元企業との連携

地元サービス業者等の紹介

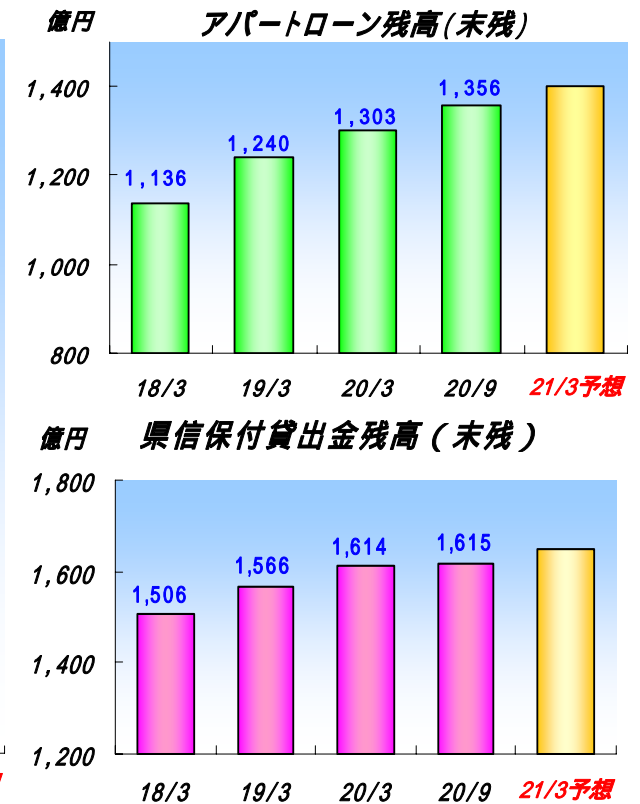
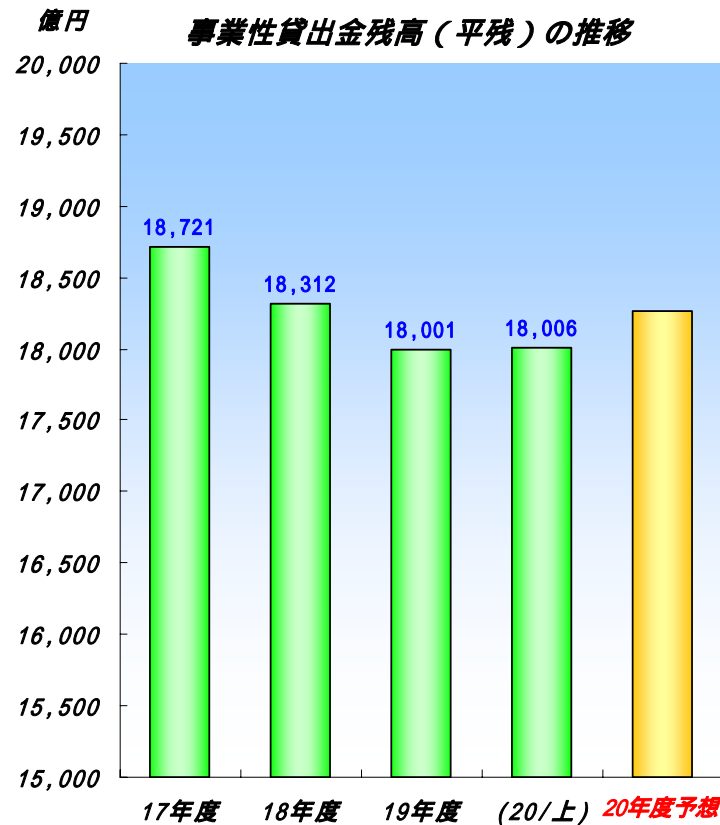
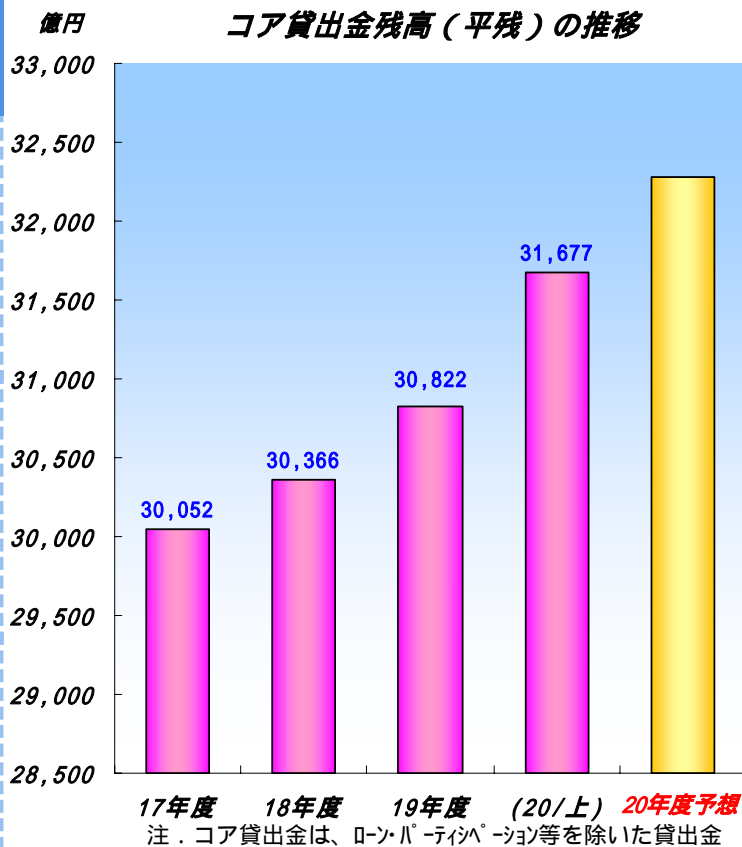
### 地元企業の育成

参入支援セミナー等側面支援強化

# 営業力の強化

## コア貸出金増強への注力

コア貸出金は目標を上回る推移、良質な貸出金の積み上げにより資金利益底上げを図る  
 顧客とのリレーション強化の取り組みが浸透し、事業性貸出金も底打ちへ  
 従来から順調である県信保付貸出、アパートローン等の積み上げで事業性貸出金増加基調定着へ



# 営業力の強化

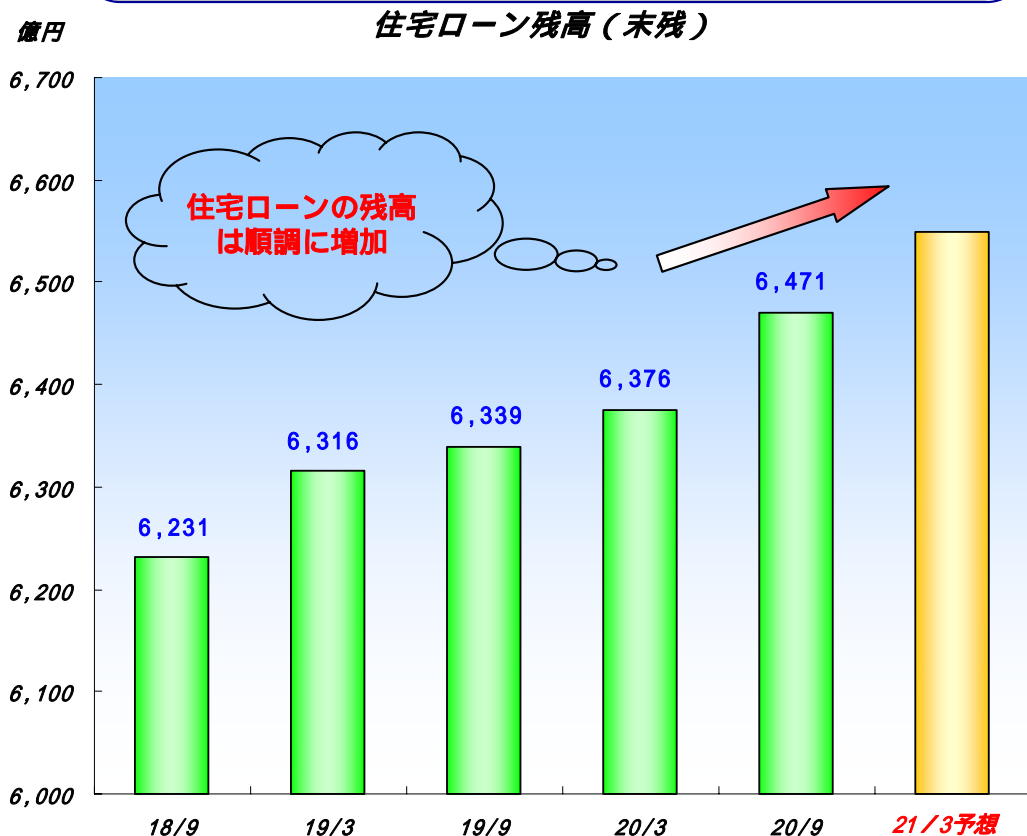
## コア貸出金増強への注力

### ローンセンターの強化

- ローンセンターによる住宅業者取組強化
- 大手住宅業者に対する取組強化
- 営業店との連携による中小業者への取組強化
- ローン推進拠点の拡充

### 商品の拡充

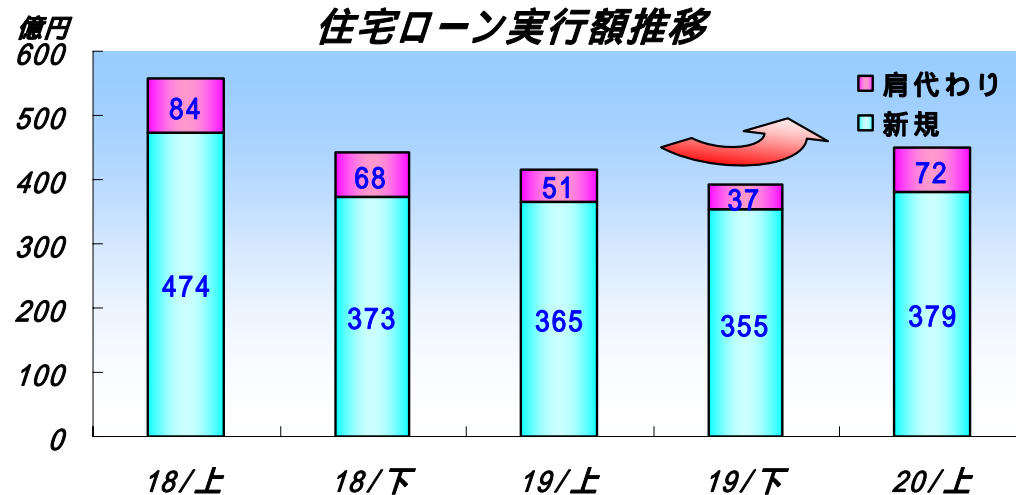
- 住宅ローン環境サポートキャンペーンの実施
- 付帯サービス付住宅ローンの取扱開始
- 進出企業従業員向け住宅ローンの取扱い
- 全戸ポスティング等による肩代わり推進強化



### 宮城県内の住宅ローン取扱い状況

(単位: 件、%)

	18/下	19/上	19/下	20/上
住宅ローン実行件数	2,400	2,275	2,042	2,367
うち県内新築向け	1,972	1,933	1,789	1,941
県内住宅着工戸数(持家+分譲)	5,579	5,202	4,241	4,827
当行取扱いシェア ÷	35.3	37.2	42.2	40.2



# 営業力の強化

## 預金・預り資産一体での金融資産の取込強化

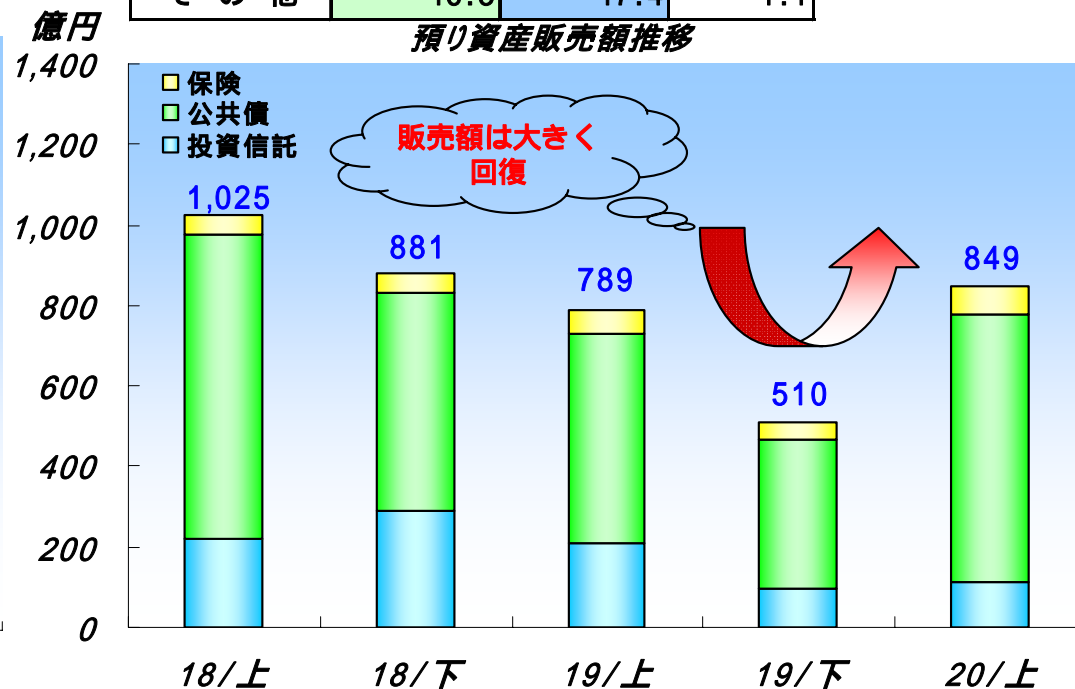
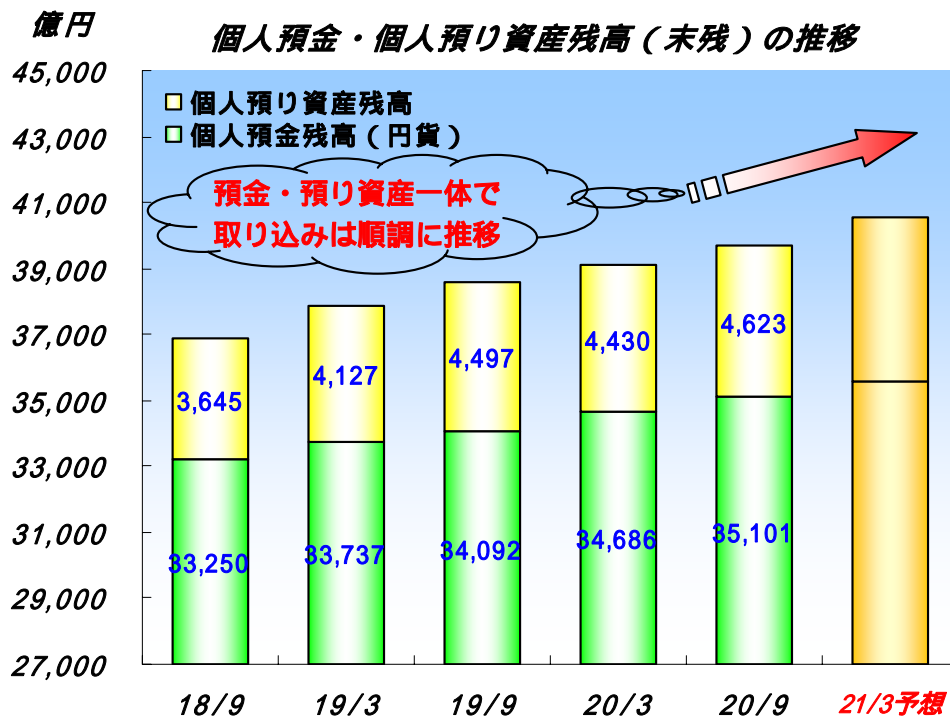
個人預金と収益性の高い預り資産の推進  
 各種預金キャンペーンの強化によるニューマネー取込み強化  
 退職者情報等のタイムリーな還元と退職者専用プランの策定  
 相談プラザ等を活用した階層別セミナーの開催による取引裾野の拡大

宮城県内預金シェア(郵貯・農漁協含む)

(単位:%、ポイント)

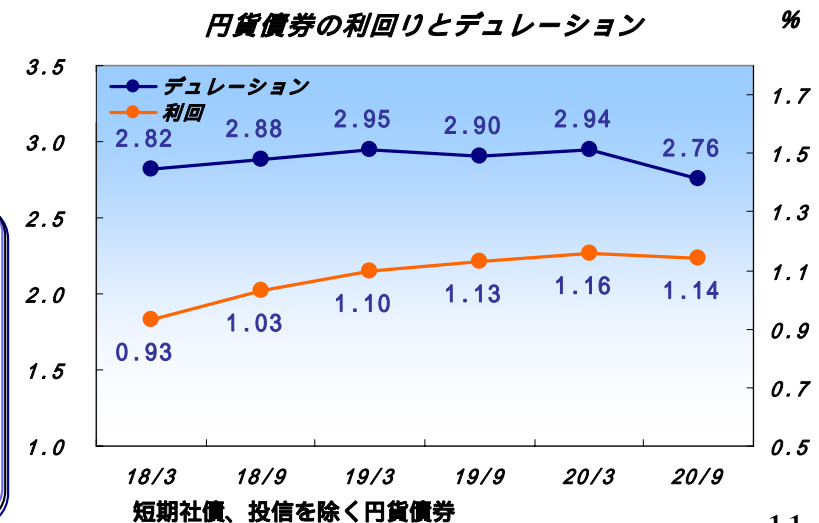
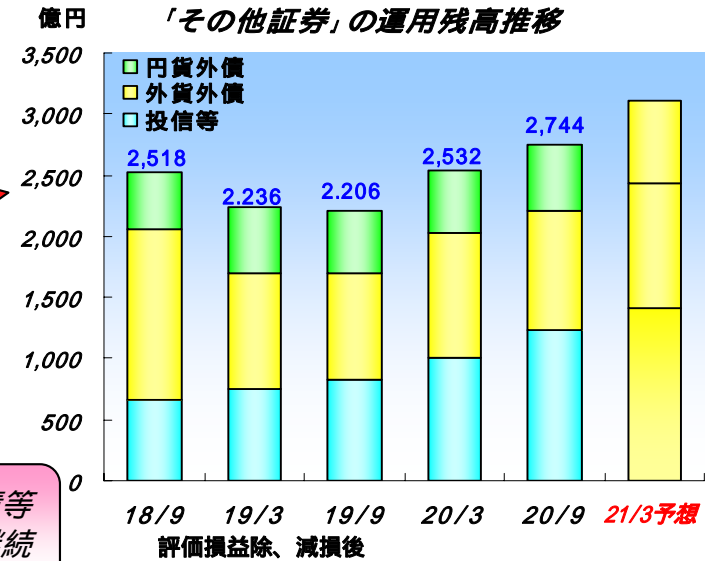
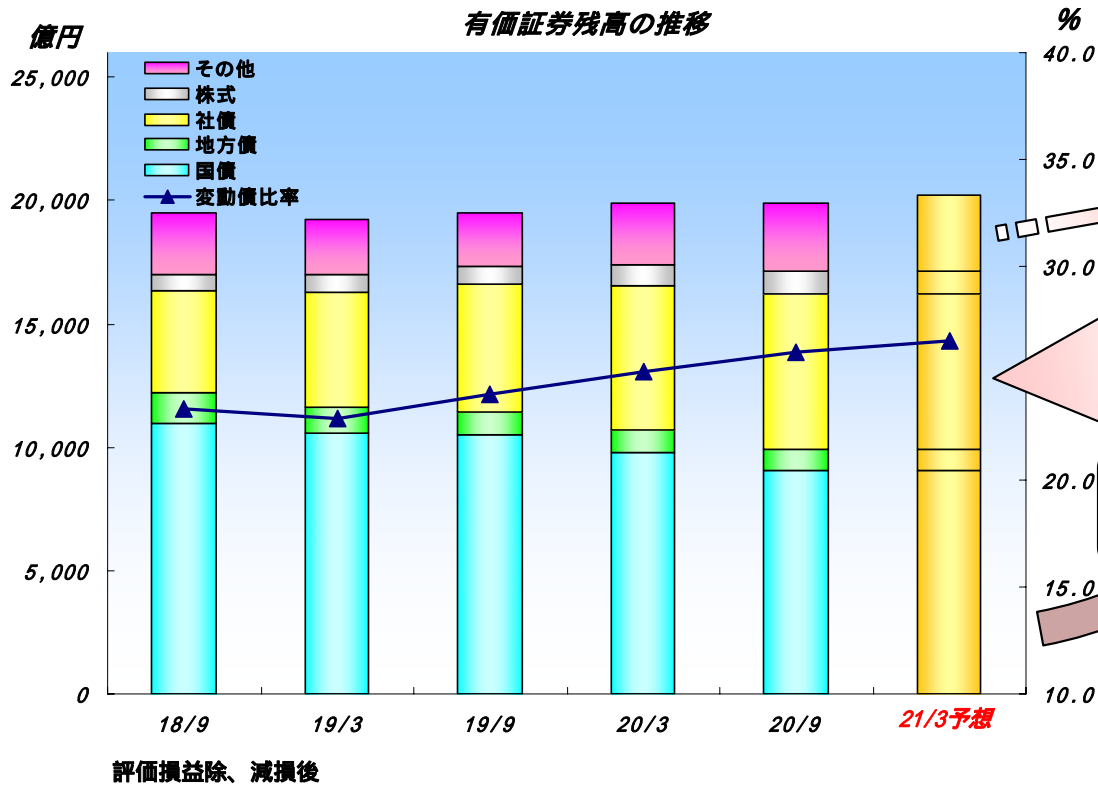
	平成14年3月	平成19年3月	-
当行	35.5	37.7	2.2
大手行等	10.9	11.6	0.7
地方銀行	3.0	3.5	0.5
第二地銀	7.4	7.7	0.3
郵貯	26.9	22.1	4.8
その他	16.3	17.4	1.1

過去5年でシェアは向上



# 有価証券運用の強化

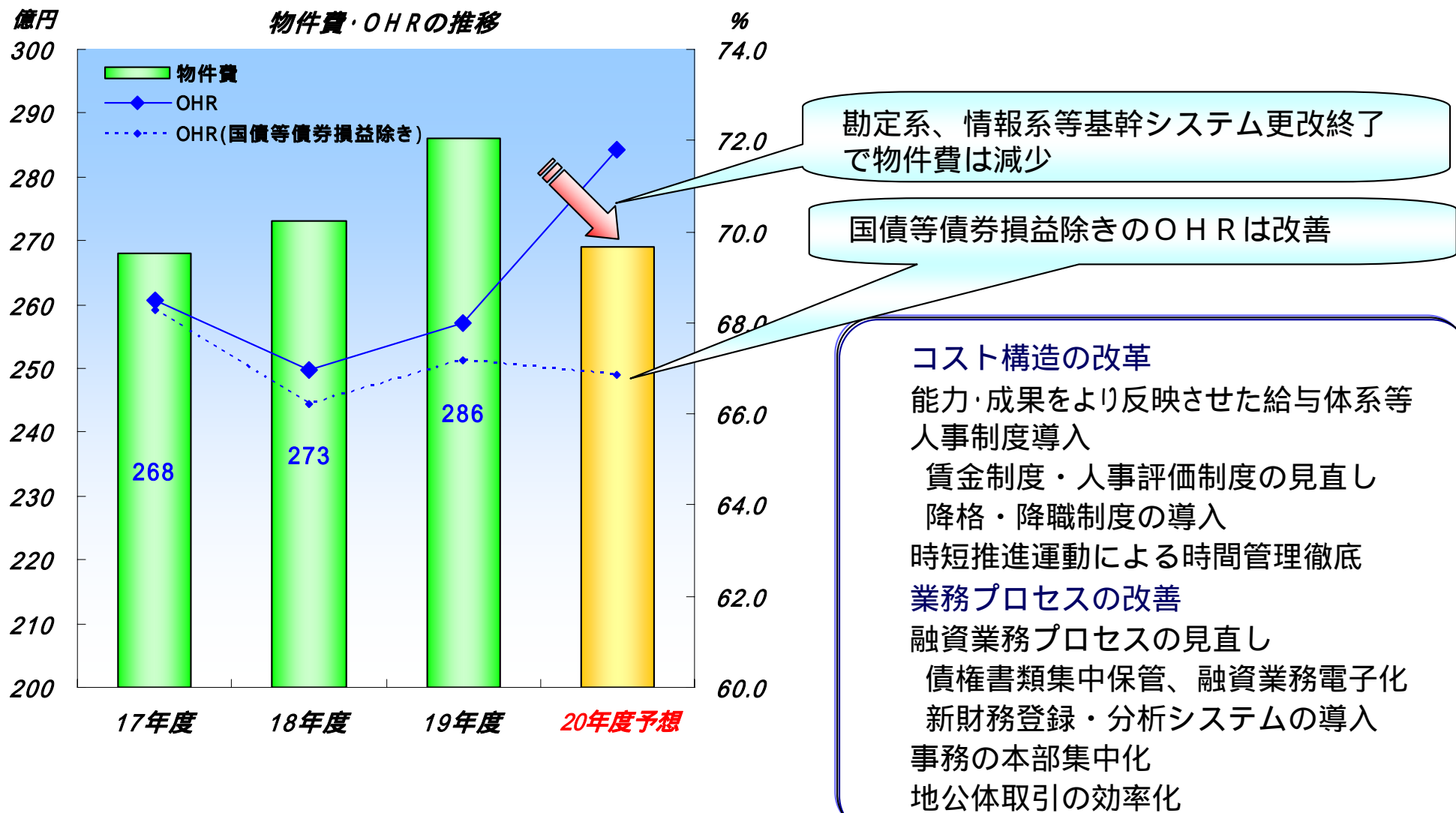
## 有価証券ポートフォリオの状況



**健全性・収益性の向上**  
 中長期的な経済・投資環境見通しに基づくアセットアロケーション  
 株式投信等の活用による運用の多様化、分散化  
 成長性・収益性重視の銘柄入替による株式ポートフォリオの質的向上  
 事業債、外国証券等への投資シフトの継続

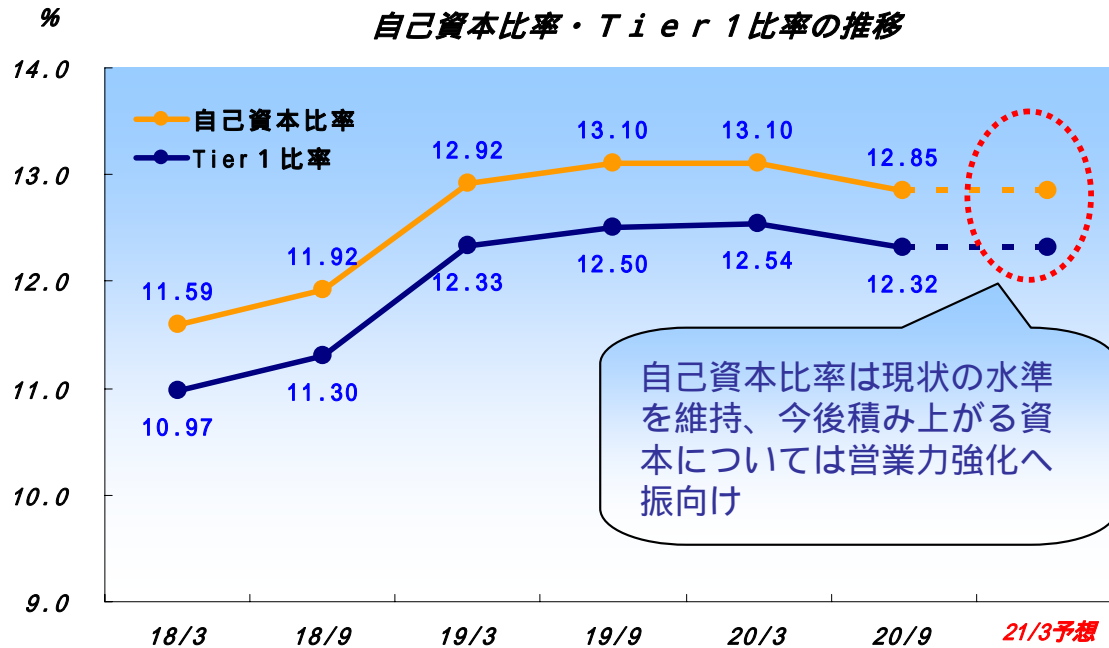
## 経営効率の改善

## 経費・OHRの推移



# 健全性の維持

## 自己資本



税効果相当額のTier 1に対する割合

15.2% (20年3月末比 + 0.3)

税効果除く自己資本比率

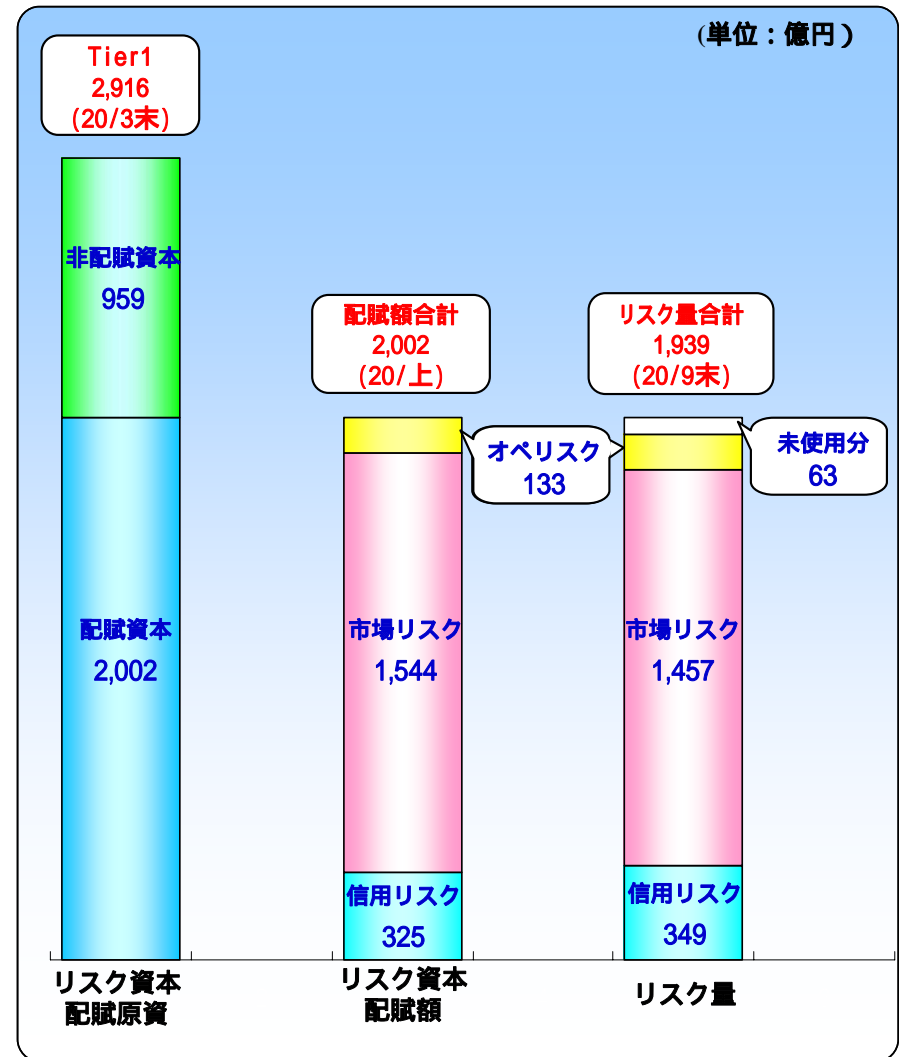
10.97% (20年3月末比 0.27)

参考～アウトライヤー比率(平成20年9月末)

金利リスク量	Tier + Tier	アウトライヤー比率
470億円	3,137億円	15.0%

注：金利変動の99パーセンタイル値に基づき算出

## リスク資本管理の状況(平成20年9月末)





## 損 益

(単位：億円)

	19年度 (実績)		20年度 (予想)	
		前年度比 増減額		前年度比 増減額
業 務 粗 利 益	872	9	800	72
資 金 利 益	780	1	755	25
役 務 取 引 等 利 益	101	13	100	1
国 債 等 債 券 損 益	12	2	60	48
外 国 為 替 売 買 損 益	1	23	2	3
経 費	593	15	575	18
一般貸倒引当金繰入前業務純益	279	6	225	54
[ コ ア 業 務 純 益 ]	[ 291 ]	[ 4 ]	[ 285 ]	[ 6 ]
一般貸倒引当金繰入額	18	41	35	53
業 務 純 益	297	35	190	107
臨 時 損 益	98	18	60	38
株 式 等 関 係 損 益	4	11	50	46
不 良 債 権 処 理 損 失	102	0	100	2
経 常 利 益	198	16	130	68
当 期 純 利 益	122	20	80	42
与 信 費 用	84	41	135	51



## 主要勘定・利回・利鞘

(単位：億円、%)

		19年度 (実績)	前年度比	20年度 (予想)	前年度比
主要勘定 (平残)	貸 出 金	30,822	1.3	31,970	3.7
	コア貸出金	30,822	1.5	31,970	3.7
	有 価 証 券	19,727	1.5	20,246	2.6
	預金 + 譲渡性預金	49,749	1.6	50,800	2.1
利回・利鞘	貸 出 金 利 回	2.04	0.18	1.96	0.08
	コア貸出金利回	2.04	0.17	1.96	0.08
	有 価 証 券 利 回	1.52	0.01	1.36	0.16
	預 金 等 利 回	0.25	0.15	0.26	0.01
	資金スプレッド	1.47	0.03	1.38	0.09
	総 資 金 利 鞘	0.29	0.04	0.26	0.03
参 考	預り資産残高(未残)	5,491	7.6	6,200	12.9

(注) 前年度比は、主要勘定、預り資産が増減率、利回・利鞘がポイント差

## 中期経営計画の進捗状況

(単位：億円、%)

	17年度		18年度		19年度		20年度予想		
		計画対比		計画対比		計画対比	当初計画	計画対比	
業務粗利益	836	15	863	23	872	13	800	925	125
資金利益	752	21	779	19	780	20	755	835	80
役務取引等利益	108	0	114	2	101	16	100	125	25
経費	573	5	578	0	593	20	575	552	23
<b>コア業務純益</b>	<b>266</b>	<b>26</b>	<b>295</b>	<b>25</b>	<b>291</b>	<b>29</b>	<b>285</b>	<b>380</b>	<b>95</b>
OHR	68.5		67.0		68.0		71.8	59.6	12.2
自己資本比率(国内基準)	11.6		12.9		13.1		12.7	12.0	0.7
コア貸出金平残	30,052		30,366		30,822		31,970	30,310	1,660
預り資産残高(未残)	3,668		5,104		5,491		6,200	7,000	800

金利水準予想

(単位：%)

	18年3月末	19年3月末	20年3月末	21年3月末予想		
				当初計画	計画対比	
無担保コールO/N	0.002	0.715	0.641	0.300	0.500	0.200
日本円TIBOR(3ヵ月)	0.128	0.663	0.839	0.800	0.700	0.100
新発10年国債流通利回り	1.770	1.650	1.275	1.450	2.750	1.300
当行短期プライムレート	1.875	2.375	2.375	2.175	1.875	0.300

ROE(コア業純ベース)	7.69	8.06	8.15	8.87	10.60	1.73
--------------	------	------	------	------	-------	------

注：網かけ、太字部分が中期経営計画における基本目標

行内の預り資産推進に対する意識付け・体制整備は進展

マネーアドバイザー累計

**30名** (現在7名、その他は営業店に配属)

店舗の新設  
(うち個人取引特化店5カ店)**6カ店**

強固なネットワークの拡充に関しては大幅に進展

ローンセンターの新設

**4カ所**

法人営業所設置、県外駐在配置

**4カ所**

## 創業130周年事業

# 130

Best Quality

おかげさまで130周年

ロゴマークは、当行のイメージカラーを基調に、創業130周年の「130」と、当行の目指す銀行像「地域と共に歩み、地域と共に発展する『ベストクオリティバンク』」から、「ベストクオリティ(BQ)」をモチーフとし、永年のお客さまへの感謝の気持ちと、これからも「ベストクオリティ(BQ)」を目指す当行の方針を表しております。

七十七銀行は平成20年12月9日に創業130周年を迎えます。

これもひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまのあたたかいご支援、ご愛顧の賜物と役職員一同深く感謝しております。

七十七銀行では皆さまへの感謝をこめ、様々な「創業130周年事業」を実施してまいりました。

「地元プロスポーツチーム応援キャンペーン」の実施

平成20年4月、定期預金の金利優遇および特別贈答品を提供する「地元プロスポーツチーム応援キャンペーン」を実施

東北大学への寄附講座の開設

平成20年4月、地域の経済金融に関する教育研究をテーマとした寄附講座を開設

子供向け金融教室等の開催

平成20年7月、地域の小学生を対象とした「金融教室」、「ものづくり教室」を開催

移動採血車の寄贈等による血液事業への協力

平成20年7月、日本赤十字社に対し大型の採血車を寄贈、これに合わせ、行員ならびに行員家族を対象に1,000人以上の献血を目標とする「企業献血キャンペーン」を実施

役職員によるボランティア清掃の実施

平成20年10月、役職員およびその家族1,300人あまりが仙台市中心部をはじめ県内7カ所での清掃活動を実施

その他にも社会貢献支援ローンの発売をはじめ広く皆様に貢献できる施策を実施



## 次期中期経営計画に向けて

## 外部環境

- ・ 製造業の進出による産業構造の変化
- ・ 少子高齢化、人口減少
- ・ 地域間格差の拡大
- ・ 仙台圏での競争激化
- ・ 顧客ニーズの多様化
- ・ 運用環境の悪化

## 内部環境

- ・ 営業面への資源配分不足
- ・ 高コスト傾向の体質
- ・ 慎重・堅実重視の気風

## 着眼点～現行モデルの延長を超えて収益拡大を図る

- ・ ビジネスモデルの明確化(誰のニーズに応え、何で儲けるのか)
- ・ 差別化の徹底(如何にして地域・顧客・市場から選ばれるか)

## 経営課題

「新たな収益機会の創造」、「他行との差別化」とその実現に向けた「実行力」

## あるべきビジネスモデル

- ・ 営業人員の増強・営業スキルの向上による「収益機会創造型」モデル重視
- ・ 限られた経営資源の投資効果の極大化
- ・ 地域・顧客・株主から選ばれる付加価値の提供
- ・ 行員にとっての働きがい、職場の魅力の向上による生産性の引上げ

地域と共に新たな時代を創造する銀行を目指す

・ 営業力の強化

・ 生産性の向上

・ ステークホルダーに対する貢献

本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社七十七銀行 総合企画部

022-267-1111

企 画 課 (内線 3010・3011)

主 計 課 (内線 3050・3053)

広報・関連事業課 (内線 3020・3021)

インターネット・ホームページ・アドレス

<http://www.77bank.co.jp/>

七十七銀行